



女 優
浜

美 枝

団塊世代のリタイアの時期を迎えるこの数年、観光あるいは移住など、団塊の世代をその地に招き、地方を活性化したいという動きが全国で始まっています。「団塊の世代」とは昭和22年から24年の3年間に生まれた約800万人強も、車やライフスタイルも、新しい風を常に求めてきた世代です。古いモノに代わって、新しいモノをどんどん取り入れ、ファッショングループを先導してきた世代といいかえることができます。

そのため、団塊の世代は、男女共に消費に積極的。これまでの

日本の中ニアとはまったく違うシニアになるだろうといわれています。彼らがシニアになることで、シニアマーケットがこれから大きく変化するだろうと予想されているのです。

では、彼らが望む旅はどんなものなのでしょう。ある調査によるところ、「ゆっくりじっくり時間をかけたい」「多少高くてゆつたり周遊型のパッケージ旅行」「自由度の高い、行動を管理されない旅を望む」という傾向があるようです。

「自分で手配し自分で動く」、「マイカーやレンタカーで動き回る」という、これまでのシニア世代とは一線を画す、積極的な旅を望む人も少なくありません。

そうした団塊の新しいシニア世代にとって、沖縄は本当に魅力的な場所に違ひありません。

観光スポットをめぐりたいとい

う人たちは、これまで通り、多くいらっしゃるでしょう。沖縄の歴史を訪ね、魅力的な沖縄の文化に

触れ、優雅なホテルに滞在し、美しい自然を堪能し、帰りにはお買物も楽しむという従来からの旅のスタイルです。

しかし、これからはこの定番の

スタイルとは違う旅を求める人もまた、増えてくるのではないかでしょうか。モーレツに働いてきた団塊世代は、豊かさを追い求めてきた世代です。でも、同時に、物質だけで心が豊かになるとは限らないこともあります。ですから、豪華三昧

の旅というよりはむしろ、たとえば現地の生活に溶け込んで、そこで何かしらを学ぶというような旅を望む人もあります。

沖縄は、そういう旅を望む人にとっても、格好の場所でしょう。国内主要空港から直行便が飛んでいるなど、アクセスがよく、病院などの医療・福祉施設が整つており、長期滞在に適した宿泊施設があり、観光やアクティビティにも優れている……。快適に長期滞在するための条件が沖縄にはすべてそろっているからです。

そうしたニーズを見越したように、最近の沖縄は、ホテルの建築ラッシュ。その前は、マンションの建築ラッシュでした。でも、町のあちらこちらに建設途中のビルが立っているのを見ると、私はふとかつての日本列島大改造やバブルの時代を思い出したりして、ち

よつと心配になってしまいます。あの時代、美しい日本の田舎の風景が音をたてて壊され、失われていきました。箱根の我が家は、古民家が無残に壊されてしまうのが、忍びなく、そこで考えに考えた末に、古民家の柱や梁を使って、建てた家です。

開発に当たっては、沖縄の伝統文化を残すことに対する知恵を絞り、バランスよく進めていくほしと切に願います。そして、自然も、これまで以上に美しく保護してほしいとも思います。長く未来にわたって美しい自然を保つためには、人の手による保護が不可欠だと思うからです。

美しい海、青い空に絵のように美しく映える沖縄の風景、そして沖縄ならではの、温かなもてなしの心……。

そのひとつひとつに磨きをかけることにより、沖縄は成熟したこれからの大人的男女にとって、ゆっくり流れる時間を味わうにふさわしい場所として、どこよりも愛される場所になると、私は思っています。